

新ビルで東京環境保全協会との賃金労働条件交渉が行われました。日額賃金に関しては、作業員・軽小型ダンプ車の就労車・新小型ダンプ車の就労車・新小型ダンプ車の就労車

しかしながら高齢者賃金

来春の新しい年号を迎えるころ、新運転も結成60周年の記念式典を実施することになるでしょう。

そこで60年の歴史を振り返れば、昭和34年2月13日、僅か十数名の仲間たちと日本運転者組合を結成し、労働者供給事業の申請を試みましたが、中々その官許は得られませんでした。そうした経緯のなかで、同年五月に新産別に加入することにより、12月に開かれた第2回大会で組合の名称も現在の新産別運転者労働組合と変更されることになったのです。

その後、時は流れ10年後の昭和44年5月15日の午後2時から西武百貨店渋谷店の大食堂において、明日への希望に燃え盛大に力強く開催されたのが結成10年祝賀会となります。そこでは5年以上在籍する組合員307名を招待し感謝状を贈り、新たな決意の元に、

一〇一八年度 賃金労働条件交渉

6月18日に九段にある日

の運行状況と顧客サービス、苦情等の管理などを目的とした機関として近代化センター法案が出されています。

更に4年後の昭和48年には石油（オイル）ショックという経済危機を受け、町のいたるところでトイレットペーパーを購入する為だけにスーパー・マーケットなど

の店舗前に幼子の手をとり行列にならぶ庶民の姿がありました。

更に昭和54年の新運転が満20年を迎えるころ、入

がスタートすることとなりました。

交渉もまとまらず、それ以外の要請も含めて次回の交渉を持ち越しとなります。

現在、運転業界の運転免

り、夏季・繁忙期（50日間）

の基本賃金からダウンを強

調する関東生コン輸送協会

に対して最低でも現行の基

本賃金の継続を主張する労

業員・軽小型車・普通貨物

車・新小型ダンプ車の就労

